

校長室だより

令和4年(2022年)
2月25日発行(No.15)
柏原市立堅下北中学校
校長 坂本 篤俊

コロナ禍の中で!

～「前へ」～

新型コロナウイルスの感染状況がピークを越えたという情報が流れています。しかし、大阪府の病床使用率は高いままであり、お亡くなりになる方もおられます。現在、まん延防止等重点措置期間中で、予定では3月6日(日)までです。主に、飲食店のアルコール類の提供や営業時間、集まる人の入場等を制限して、密の回避を促しています。これは、オミクロン株の感染力の高さからくるものです。学校生活では、マスクの着用と手指消毒、手洗い、密の回避を今まで通り行ってください。

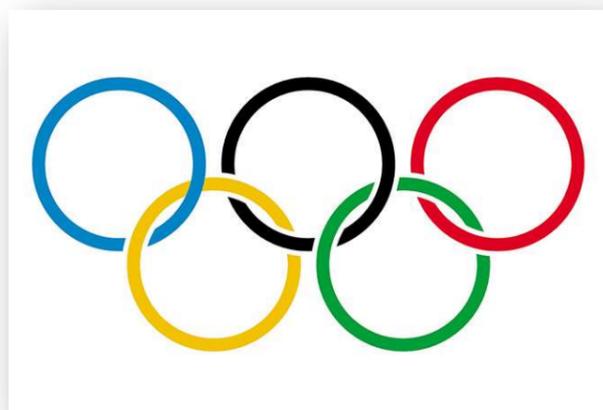
今は年度末であり、3年生にとっては進路決定の真ただ中です。1・2年生にとっても、修了式までの日々は今の学級のメンバーと過ごす大切な一ヶ月となります。この一年間を振り返って、出来たこと、出来なかったこと、そして、自分や周囲の仲間に対する新しい発見もあったでしょう。振り返りを踏まえた上で新しい年度へ前を向いて頑張りましょう。

目標に向かって一所懸命に頑張ることのすばらしさ!

～2022北京オリンピック冬季大会より～

先日の集会でも少しふれましたが、オリンピックが終わりましたね。皆さんの関心はどうでしたか?校長先生は、目標に向かって全ての可能性を前向きにとらえて、全力で取り組んだ選手達に拍手を送りたいです。

オリンピックは夏季と冬季の2種類あります。どちらも4年に一度です。数年前までは同じ時期に開催されていましたが、確か、'94年のリレハンメル大会から交互開催になるように調整されました。その結果、オリンピックは2年に一度開催されるようになりました。だから、選手によっては両方に参加する人も増えたようです。昨年、新型コロナウイルスの影響で2020東京オリンピック夏季大会が1年延期したことにより、'21年夏季大会の半年後に'22年北京オリンピック冬季大会が開催されることになりました。どちらの大会も世界的なコロナ禍での実施でしたが、知恵を出して開催したことで、たくさんの感動や勇気を得られたのではないのでしょうか。



●今回出場された選手(一部)のコメント等●

◆スノーボードハーフパイプ 金メダル 平野歩夢 選手

トリプルコーク1440(斜め軸に縦3回転にこだわった理由は「誰もやっていない技」だから。ゆえに「ヒントも正解もない」)中で、東京五輪後から「1日50本とか60本とか、かなり練習」して会得した。昨夏の東京五輪スケートボード競技終了から、わずか190日。前例なき“二刀流”挑戦の末、夢をかなえて「ここを獲らずには終われない」と。やってきたことを全て出し切れた「ようやく夢がかなった」という重みを感じる。

◆スノーボードの女子ビッグエア 銅メダル 村瀬心花 選手

歓喜の涙を流した村瀬選手は「小さな頃からの夢がかなった。諦めないでずっと練習してきて、本当に良かった」とつぶやきました。冬季五輪の日本女子最年少メダルということには「あまり気にしていなかったけど、さっき聞いて、凄くうれしい」とはにかみ、表彰台で見た景色を問われると「信じられなかった。小さい時からの夢だったので、家族や友達を思い浮かべながら“獲ったよ”という気持ちだった」4年に一度の大舞台にも「自分は他人を気にせずに滑ることを大事にしている」とメンタルの強さを見せるなど、世界を相手にしてきた17歳の力強さがあった。

◆ノルディックスキー複合団体 銅メダル 渡部暁斗、渡部善斗、永井秀昭、山本涼太 各選手

渡部暁選手は「団体戦はチームみんなで喜べて(個人の)何倍もうれしさがあると世界選手権で体験した。この瞬間をみんなで共有できてうれしい」「若手が経験できたことがうれしい」渡辺兄弟父:一生懸命にやっているのは分かっている。だから「頑張れ」とは言わない。兄は5度目、弟は3度目、目指した目標はメダル!父は「結果はついてくるものだから」と信じて見守った。

◆スピードスケート女子 金メダル、銀メダル3(7種目出場) 高木美帆 選手

「五輪は『本気』を味わえる場所だと強く感じた。本気の舞台で本気で戦えるのは、すごく幸せなこと。しんどい期間、つらい期間もあったが、楽しかった」と自身3度目の大会を振り返った。1000Mでは五輪新記録で1位に立った。ゴールする瞬間、高木は大きくガッツポーズした。「私だけの力では成し遂げることができなかったと強く思う。チームの力の強さを証明できた」「大会を通してかっこよくなかった部分もあった。弱くなった部分もあった。でも最後まで挑みきるといふ点では格好よくいられたかな」

◆スキージャンプ NH:金メダル、LH:銀メダル 小林陵侑 選手

本人はNH後「2本目はタイミングが多少遅れたけど、良い流れで飛べた。ラージの方が飛びやすいので、2本そろえられることができればなって思う」と振り返った。兄は、弟・陵侑のLHの銀メダルについて「本当、頑張ったと思う。2位でも凄い」と自分のことのように喜びを口にした。4年間を振り返り「いや〜、本当に波というか、大変だったけど、今回個人戦が終わって、4年後も挑戦したい気持ちになった。

◆女子カーリング 銀メダル ロコ・ソラーレ (チーム名)

スキップ藤澤選手の右手に記された英文のメッセージも国内外で話題を集めていました。英国との決勝戦のとき、記者がこの日のメッセージを紹介していました。

文面にて「五輪の全ての試合で、スキップのサツキ・フジサワは手に決意を記している。CBC五輪のカーリングクルーの素晴らしい働きで、決勝戦で彼女が何を記したのか判明した」と紹介。「Move together (ともに動く)、Trust yourself (自分を信じる)、Have fun (楽しもう)」であると伝えた。3つのおまじないについて「スポーツと人生にとっても名言だ」と感銘を受けた様子。コーチが藤澤選手の手で英文を記すシーンを日本協会の公式ツイッターが公開していたが、心強いメッセージは世界に届いていた。「平昌五輪以降、勝つことが当たり前とされた。ロコが負けたという報道を目にしたたり聞いたりすることも増え、自分たちでプレッシャーをかけてカーリングをするのがつらい時期もあった。そういうことがあったからこそ、チームとしてどういう方向に向かっていくのか、チーム、個々が考えて、リンクできた4年間だった」

◆女子フィギュアスケート 銅メダル 坂本花織 選手

銅メダルを受け取った後も会場に残り、高木美帆選手のセレモニーを見守った。「金メダルを手にするって本当にかっこいいことだなって思った。そこまで狙えるような選手になりたい」

「何かあってもプラス思考でいること。あとは身の回りの整理整頓。いつも掃除をしてから試合に行っていて、運の一つかなと思いつながら掃除をしている」

◇出し切った

羽生 結弦 選手 (フィギュアスケート男子4位で3連覇ならず) 全部出し切ったというのが正直な気持ち。これ以上ないくらい頑張った。

◇99%以上は努力

谷 愛凌 選手 (中国=フリースタイルスキー女子で金2個、銀1個) 才能はそれほど重要ではない。99%以上は努力だから。

◇途中棄権しない

ミカエラ・シフリン 選手 (米国=アルペンスキー女子3種目で途中棄権) 残りのキャリアは途中棄権しないと思う。

◇心の底から感謝

ショーン・ホワイト 選手 (米国=スノーボード男子ハーフパイプ4位で現役生活にピリオド) とても幸せ。全ての人に心の底から感謝したい。

皆さんは何を感じますか?主に日本のメダリスト(他にもおられます)にふれましたが、出場した選手や出場をめざした選手はたくさんいます。常に結果を問われますが、目標を決意して仲間の協力を得て、純粋に目標達成をめざした過程は色あせることのない素晴らしい道のりだと思います。今回はオリンピックに焦点を当てましたが、私たちの周りにも努力を重ねて一生懸命に頑張っている人がたくさんいます。そのような努力を認めて共感できればと思います。そのことが、皆さん一人ひとりの今後の一助になるでしょう。

3月4日(金)~13日(日)の10日間に2022北京パラリンピック冬季大会が同じ会場が始まります。注目してみてください。

●主な学校行事等について(2月24日現在)

※様々な状況により、更なる急な変更があるかもしれません。

感染防止対策を実施して行います。

- 一般選抜懇談会(3年)…2月22日(火)~25日(金)
- 1, 2年学年末テスト…2月22日(火)~25日(金) 23日(水):祝日
- PTA決算総会…3月1日(火) 紙面開催
- 小中連携書写(1年)…3月4日(金)
- 卒業式予行…3月7日(月) 5・6眼
1・2年生:4限給食後下校 ※部活動は再登校です。
- 大阪府公立一般選抜
通信制…3月6日(日)~8日(火)、面接
全日制、定時制…3月9日(水)
- 卒業証書授与式…3月10日(木)
- 給食今年度最終日…3月17日(木)
18日(金)、22日(火)はお弁当の用意をお願いします。
- 修了式…3月24日(木)
- PTA 役員新旧引継ぎ会、
実行委員会…3月24日(木)

※進路関係の日程については、最新の情報の確認をお願いします。

○学年が中心となる行事については、学年や学級から周知させていただきます。

日常の五心
「はい」という素直な心
「ありがとう」という感謝の心
「すみません」という反省の心
「おかげさま」という謙虚な心
「私が出ます」という奉仕の心